

表千家 × 芦屋釜

復興の歴史をつむぐ



表千家同門会第78回全国大会

表千家九州茶道館40周年記念福岡大会

5月8日・9日に、表千家同門会第78回全国大会が福岡県で行われ、芦屋釜の里がその会場の一つとなりました。福岡県での開催は11年ぶり、6回目です。千利休を祖とする表千家は、400余年にわたって茶道を継承している、日本を代表する流派です。

2日間で、県外から参加される茶人1082人と、それをもてなす県内の茶人のべ64人が芦屋釜の里を訪れました。

大茶室では、表千家福岡県支部の皆さんが茶席で参加者をもてなしました。茶席では、今回の大会に合わせて芦屋釜復興工房の樋口陽介さんが製作した釜が使用され、芦屋らしさを感じる道具組みとなりました。

資料室では、鑄物師による芦屋釜の解説と見学、八女茶の販売、高取焼の展示を行い、復興工房では、釜の製作工程の紹介を行いました。

9日には、表千家第15代家元猶有斎千宗左宗匠、前家元而妙斎千宗旦宗匠ご一行が来園され、波多野町長が出迎えました。また、鑄物師より芦屋釜復興の状況や現代の芦屋釜の特

茶の湯と芦屋釜

14世紀半ば頃から造られ始めた芦屋釜は、美しい形と文様をもつことから京の貴人（公家、武家、僧侶など）の間で人気を博し、「釜は芦屋」と評されました。茶の湯の世界で一世を風靡した芦屋釜でしたが、芦屋鋳物師を庇護していた守護大名大内氏の滅亡や他産地の釜の台頭などが重なり、芦屋釜の製作は江戸時代初期頃に途絶えてしまいます。しかし、その名声は止むこと無く、茶席の主役として現代に至るまで珍重されています。また、国指定重要文化財の茶の湯釜9点のうち、8点を芦屋釜が占めることから、その評価の程を知ることができます。



芦屋霰地真形釜 芦屋釜の里蔵（室町時代）

表千家と芦屋釜

平成26年4月、表千家第14代千宗左家元（前家元）ご一行が芦屋釜の里に来園され、それが縁で27年9月に表千家に芦屋釜を寄贈しました。その芦屋釜は家元の自筆の書画を釜の胴部に描いた特別な釜です。家元より、「同じ釜をもう1点作り、芦屋町で所蔵してはどうか」との提案を受け、その釜の完成に合わせて28年11月にお披露目の茶会と展示を行いました。茶道具に茶道流派の家元の花押が入ることは非常に特別なことであり、芦屋釜復興に取り組む芦屋町にとって、歴史的な出来事となりました。



平成26年に来園した現家元の猶有齋宗匠（左）、前家元の而妙齋宗匠（右）と波多野町長



微などを説明しました。家元ご一行は、芦屋釜の里の取り組みに熱心に耳を傾けられていました。芦屋釜の里が全国規模の茶会の会場となったことは初めてのことであり、全国の皆さんに芦屋釜の復興や芦屋釜の里を大いに周知することができました。

▽問い合わせ 芦屋釜振興係
 (☎2223局5881)



鋳物師が芦屋釜について説明

資料室では鋳物師^{いもじ}八木孝弘さん（写真上段）が、芦屋釜の見どころや復興事業に関する説明を行いました。八木さんは、「参加された全国の先生方に向け、芦屋町の取り組みを知ってもらおうと解説を行いました。芦屋釜の里に一度来てみたかったという人が多く、芦屋釜復興事業が少しずつ周知されていることを感じることができました」と話してくれました。

工房では、鋳物師養成員の樋口陽介さん（写真下段）が芦屋釜の製作工程や素材のこと、製作の苦勞などを説明しました。「表千家家元への説明は緊張しましたが、釜の軽さの追及や素材へのこだわりなどをお伝えすることができました」と話してくれました。



芦屋釜の里内でのさまざまな様子

- ① 大茶室での道具拝見
- ② 芦屋釜の里長屋門に立てられた看板
- ③ 大茶室で使用された芦屋釜復興工房製作の茶の湯釜
- ④ 茶席でも使われた八女抹茶を販売
- ⑤ 展示された高取焼を見学される千宗左家元



県内諸会場の様子

- ⑥ 九州茶道館（太宰府市）の家元席
- ⑦ 太宰府天満宮文書館の支部長席
- ⑧ 太宰府天満宮崇敬者会館の支部席
- ⑨ 戒壇院（太宰府市）の支部席
- ⑩ 筥崎宮（福岡市）儀式殿の支部席
- ⑪ 筥崎宮清明殿の青年部席
- ⑫⑬ 観音寺（西浜町）の点心席



約 1200 人が参列する壮観な式典と祝宴

5月8日、ヒルトン福岡シーホーク1階の大ホールで大会式典と祝宴が行われ、茶会参加者をはじめとする約1200人が参列しました。式典では、千宗左家元の挨拶の後、小川洋福岡県知事などからの祝辞がありました。芦屋町からは波多野町長が出席し、芦屋釜とその復興事業の話を交えながら祝辞を述べました。福岡県を代表する茶道具としての芦屋釜を周知する特別な機会になりました。

- ⑭ 約 1200 人が参列した祝宴会場
- ⑮ 挨拶をする千宗左家元
- ⑯ 祝辞を述べる小川洋福岡県知事
- ⑰ 祝辞を述べる波多野町長

